

病院サイネージの番組編成変更テストによる視聴者 (患者+付添い者) 評価アンケート調査 (2012年11月15日~30日)

■ 問題点と改善実施(番組編成変更テスト)項目~病院3施設にて実施

A・B・Cの3病院にて、下記の問題点を「解決前」と「解決後」の2回にわたって視聴者(患者・付添い者)アンケートを実施しました。

	A病院		B貋	院C病院		院
問題点と改善内容	改善前	改善後	改善前	改善後	改善前	改善後
①類似したテーマの番組が連続で放映されている →連続した部分を適度に分散させる	0	0	×	0	Δ	0
②同じ内容の番組が1ロール内(約180分~240分)で重複して放映 →重複した番組を削除	0	0	×	0	Δ	0
③画面に表示される文字数が多い (※1)→番組の合間に約10秒のほとんど情報のないリラックスできる番組を挟む	×	×	0	0	×	0
④来院者の年齢層に合わない内容の番組が放映されている →年齢層に合った番組編成に変更	0	0	0	0	×	0

= 改善を実施した部分



※1:約10秒のほとんど情報のないリラックス番組(5番組制作)

- ■テスト放映による視聴者評価の変化(施設別)
- ① 代わり映えのない画面が続いていたように見えた(B病院・C病院にて改善実施)

АЯ	A病院		院	C溽	院
改善前	改善後	改善前	改善後	改善前	改善後
33% -{ n=24	26% n=43	29% -2 n=35	8% _{n=36}	33% _{n=60}	29% n=38

適度にテーマを分散して放映をすることで、 B病院に関しては評価が大きく変わりました

C病院は連続放映の状況がBより弱く、文字量の多さもあって、代わり映えのなさが払拭できなかったと考えられます。

② 同じ情報を多く見たような気がする(B病院・C病院にて改善実施)

A病院		B病院		C病院		
改善前	改善後	改善前	改善後	改善前	改善後	
38% +4 42% 46% -24 22% 48% -14 34				4 34% _{n=38}		

重複した番組を削除することで、同じ番組が何度も流れている印象は下がりました。 特に重複が多かったB病院で効果が顕著 に出ています。

③ 情報量が多くて、見ていて疲れた(A病院・C病院にて改善実施)

A痄	院	B病院 C病院		B病院C		B病院 C掠	
改善前	改善後	改善前	改善後	改善前	改善後		
26% n=24	19% _{n=43}	9 % _{n=33}	2 11% n=36	23% -1 n=60	5 8% _{n=38}		

合間にブレイク的な番組を入れることで、C 病院にて効果が見られます。改善を行わな かったA病院ですが、他の改善施策も手 伝ってか微減しています。

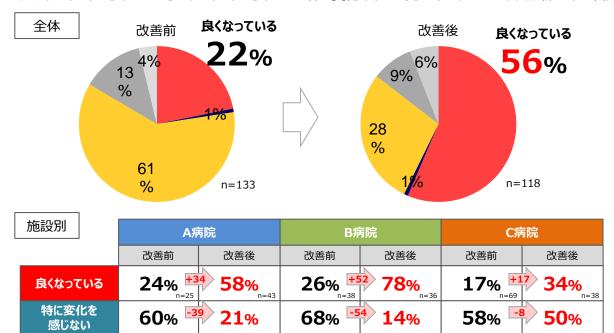
④ 自分には必要のない情報が多かった(C病院にて改善実施)

A非	A病院		B病院		院
改善前	改善後	改善前	改善後	改善前	改善後
30% -1 n=24	4 16% n=43	17% -1 n=33	6% _{n=36}	30% -2 n=60	5 5% _{n=38}

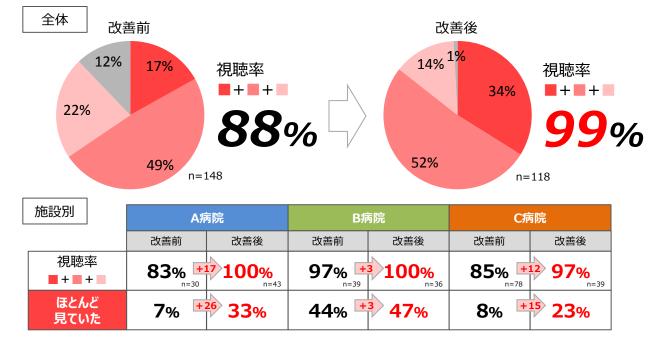
視聴者の年齢層に合わせた番組編成にすることで、C病院にて大きな効果が出ました。改善を行わなかったA・B病院でも他の施策の影響か、減少しています。



- Q 以前、来院された時と比べて、待合室テレビの放映内容に変化を感じましたか。
- ■良くなっていると感じた ■悪くなっていると感じた ■特に変化なし ■覚えていない ■今日が初めての来院



- Q 本日、病院の待合室にあるテレビはご覧になりましたか。ご覧になった程度と合わせてお答えください。
- ■ほとんど見ていた ■ときどき見ていた ■少しは見た ■まったく見ていない



元々画面の文字数の少ないB病院は、非常に高い視聴率と視聴の質があります。それ以外の施設では、視聴率・視聴の質の指標である「ほとんど見ていた」の割合が大幅に上昇しました。

■最後に

全てのアンケート数値でトップの評価を得たのはB病院でした。そして、B病院が他の病院よりも優れていたのは「画面の文字数」が少ないこと。このことは、いかに病院サイネージにおいて「文字数」が視聴者の評価・視聴の質に直結するかということを示しています。